

小学六年

適性検査A

解答と解説

【例】						
べ	彙	手	か	き	ン	
て	で	の	も	る	は	少
い	表	レ	し	の	成	な
る	現	ベ	れ	で	立	い
。	す	ル	な	、	し	語
文	る	や	い	親	、	彙
章	と	知	。	し	あ	で
2	軽	性	し	い	い	表
は	ん	を	か	間	ま	現
、	じ	判	し	柄	い	し
あ	ら	断	、	な	な	て
る	れ	す	人	ら	ニ	も
感	る	る	は	仲	ユ	コ
動	と	の	語	間	ア	ミ
を	文	で	彙	意	ン	ユ
少	章	、	を	識	ス	ニ
な	ー	少	通	が	を	ケ
い	で	な	じ	強	共	ー
語	は	い	て	ま	有	シ
彙	述	語	相	る	で	ヨ

100

20

〔問題2〕【例】			
込	段	を	語
ん	使	は	彙
で	わ	じ	は
お	な	め	自
く	い	と	然
と	語	す	に
よ	彙	る	増
い	で	さ	え
。	あ	ま	る
	っ	ぎ	も
	て	ま	の
	も	な	で
	自	経	は
	分	験	な
	の	を	い
	な	通	の
	か	し	で
	に	て	、
	溜	、	読
	め	普	書

75

60 40 20

〔問題1〕【例】	
る	複
場	数
合	の
。	こ
	と
	が
	ら
	を
	ひ
	と
	つ
	の
	言
	業
	で
	表
	現
	し
	て
	い

25

20

〔問題3〕														
に	場	こ	関	が	ら	た		ど	る		も	文	い	で
注	合	れ	係	い	、	が	言	視	方	少	指	化	と	表
意	が	ら	を	を	コ	い	葉	覚	法	な	て	や	述	現
が	あ	の	高	よ	ミ	の	以	情	と	い	き	民	べ	す
必	る	視	め	り	ユ	真	外	報	し	語	し	族	て	る
要	。	覚	ら	よ	ニ	意	の	を	て	彙	て	の	い	と
な	そ	情	れ	く	ケ	を	視	追	、	で	い	豊	る	、
と	の	報	る	理	ー	よ	覚	加	身	表	る	か	。	深
こ	た	は	と	解	シ	り	情	す	ぶ	現	。	さ	ま	い
ろ	め	民	こ	で	ヨ	的	報	る	り	し		が	た	内
が	、	族	ろ	き	ン	確	を	こ	手	き		そ	、	面
悪	誤	や	が	る	が	に	活	と	ぶ	れ		こ	表	の
い	解	文	良	よ	円	伝	用	が	り	な		な	現	感
点	を	化	い	う	滑	え	す	考	や	い		わ	を	情
だ	招	に	点	に	に	ら	る	え	視	も		れ	工	を
。	か	よ	だ	な	進	れ	こ	ら	線	の		か	夫	伝
	な	っ	。	る	み	る	と	れ	、	を		ね	し	え
	い	て	し	。	、	。	で	る	表	表		な	て	き
	よ	違	か	信	お	だ	、	。	情	現		い	き	れ
	う	う	し、	頼	た	か	お		な	す		点	た	な

440

400

300

200

(配点)
 { 〔問題1〕 15点
 〔問題2〕 35点 } 計100点
 〔問題3〕 50点

【解説】

【問題1】

B1 情報を獲得する 理由 比較 置き換え 具体・抽象

学生に語彙力がなくと筆者が判断するのはどのような場合かについて具体的に説明する問題です。この設問と同様の問いかけが、——線⑦の後に、「(語彙力を) いったいどうやって判定しているのか」と書かれています。この問いかけに対し、「判定基準はいたってシンプルです。それは、『複数のこと』がらをひとつの言葉で表現しようとするか否か」。語彙が少なく、教養が乏しいと感じる人は、とにかく言葉の選び方が『省エネ』なのです」と答えています。ここでの「言葉の選び方が『省エネ』とは、複数のこと」がらをひとつの言葉で表現することです。比喩表現を具体的な言葉に置き換えることができたかどうか確認しましょう。

※以下のポイントを中心にみます。

- ① 「複数のこと」がらをひとつの言葉で表現している」と同等の内容が書かれているか
- ② 表記や表現が正しいか

【問題2】

B2 情報を獲得する 置き換え 具体・抽象

自分が感じたことや思想などを表現するのに、できるだけ出て来あいの言葉を使わず、自分の言葉によって人に伝えるために、どのようなことをしておくよいか理由とともに説明する問題です。自分が感じたことや思想などを表現するのに、自分の言葉によって人に伝えることについて書かれている部分を

文章2 から探します。「必要に応じて、自分自身が持ったはずの(感じ)を自分自身の言葉で表現する、そんな機会は、人生において必ず訪れる」とあります。この機会のために準備すべきことについて続きに書かれています。「そんなときのために、私たちは普段は使わなくともさまざまな語彙を用意している。語彙は自然に増えるものではなく、読書をはじめとするさまざまな経験のなかで培われていくものである。ひよつとしたら一生に一度しか使われないかもしれないけれど、語彙を自分のなかに溜め込んでおくことが、生活の豊かさでもあるはずなのだ」とあります。この部分を字数制限に合わせて過不足なくまとめましょう。

※以下のポイントを中心にみます。

- ① 「語彙は自然に増えるものではないから」と同等の内容が書かれているか
- ② 「読書などの経験を通して、一生に一度しか使われないかもしれない」語彙を溜め込んでおく」と同等の内容が書かれているか
- ③ 表記や表現が正しいか

【問題3】

C2 情報を獲得する 理由 比較 具体・抽象 推論

文章1と**文章2**それぞれの、少ない語彙で表現すると起こることについてまとめ、少ない語彙で表現しきれないものを表現する方法について自分の考えを表現する問題です。三段落構成で、それぞれの段落に書くべきことが条件に示されています。

第一段落では、**文章1**と**文章2**それぞれの、少ない語彙

で表現するところのようなことが起きるのかについて書きます。**文章1**には、「少ない語彙で表現することは、言いたいことはなんとなく伝わりやすくコミュニケーションは成立します。親しい間柄であれば、あいまいなニュアンスを共有することで、より仲間意識も強くなる。便利さと引き替えに、あなたは『本当の自分よりも低いレベルに見積もられてしまう』という大きな代償を支払っています」とあります。この理由について「人は無意識のうちに語彙を通じて『相手のレベルや知性』を判断しているからです」と筆者は続く部分で述べています。語彙を通じて相手を判断しているために、少ない語彙で表現すると軽んじられる可能性があるとしています。

文章2では、感動を表現することについて、「私たちの先人はさまざまな表現を工夫してきた。それが文化であり、民族の豊かさである」とし、少ない語彙で表現することについて、「便利さに慣れていってしまふことは、実はきわめて薄い文化的土壌のうえに種々の種を蒔くことに等しいのであるのかもしれない」と危機感を抱いていることがわかります。また、斎藤茂吉の短歌を例に出して説明している部分で、「茂吉の感情として『悲し』『寂し』などの形容詞が入っていたとするならば、一般的な感情としては理解できるが、それだけでは決してその時の茂吉の悲しさ、寂しさを表現したものにはならないだろう。悲しい、寂しいという最大公約数的な感情の表現でしかないからである」と述べています。形容詞もまた出来あいの言葉であるとし、その出来あいの言葉だけでは内面の感情を表現しきれないということが起きるといふ内容が読み取れます。これらの部分をまとめましょう。

第二段落では、少ない語彙では表現しきれないものを語彙以

外で表現するときに、ほかにどのような方法があるのかを説明します。「語彙以外で」と条件にあるので、語彙を補足する以外の方法を考えましょう。ジェスチャーを使ったり、絵で表現したりする方法などがあります。読み手にわかりやすく伝えるには、主語、述語、修飾語などの表現が正しく使えているか、書いてから読み直してみるとよいでしょう。

第三段落では、第二段落で説明した方法の良い点と悪い点を説明します。良い点は、少ない語彙では表現しきれないものを表現できる点がまず考えられますが、この良い点以外のものを書くという条件があります。重複しないように注意できたか確認しましょう。

字数の多い作文を書く場合には、書く前にどのような順序で説明するのか、骨組みをメモしておくこと書き進めやすくなります。また、メモをしておくことで書き忘れを防ぐことにもつながります。

※以下のポイントを中心にみます。

第一段落

① **文章1**の、「少ない語彙で表現しても、あいまいなニュアンスを共有でき、コミュニケーションは成立するばかりか、親しい間柄なら仲間意識が強まる」と同等の内容が書かれているか

② **文章1**の、「人は語彙を通じて相手のレベルや知性を判断するので、少ない語彙で表現すると、本当の自分よりも低いレベルに見積もられる可能性がある」と同等の内容が書かれているか

③ **文章2**の、「少ない語彙で表現すると、出来あいの感情の表現のために深い内面の感情を伝えることができない」と

同等の内容が書かれているか

- ④ **文章2** の、「少ない語彙で表現すると、さまざまに表現を工夫してきた文化や民族の豊かさがそこなわれかねない」と同等の内容が書かれているか

- ⑤ ①②③④に過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか

第二段落

- ⑥ 少ない語彙では表現しきれないものを語彙以外で表現する方法が書かれているか

- ⑦ ⑥に過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか

第三段落

- ⑧ ⑥の方法の良い点が書かれているか

- ⑨ ⑥の方法の悪い点が書かれているか

- ⑩ ⑧⑨に過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか
全体について

- ⑪ 段落が問題の指示に従って分けられているか

- ⑫ 解答用紙の使い方が正しいか

- ⑬ 誤字・脱字・送り仮名等に誤りがないか

- ⑭ 字数制限が守られているか